

2015年夏 IN 佐賀県

四県(佐賀・福岡・長崎・熊本)サッカー交流会報告書

子ども達の成長

熊本県サッカー協会 キッズプロジェクト担当理事 武田昭二



キッズエリート活動をスタートし、早いもので10年を超える活動となった。活動の目玉である隣県との交流だが、佐賀県との二県交流から今では長崎・福岡が加わり四県での活動で約150名が参加、交流試合等を行う中、子ども達にとって貴重な体験活動となっている。

この交流をきっかけに九州トレンセン活動で再び出会い、よ

きライバルとなり成長を遂げている先輩達も数多く出てきている。今回の交流会を終え、熊本から新たに約30名がキッズエリート活動を卒業、真のエリート“サッカー界あるいはそれを越えた社会で将来的にリーダーとなりうる人材”を目指し、更なる成長を期待するものである。

お願い

熊本県・佐賀県・福岡県・長崎県の4県にて、毎年夏と春に持ち回りで開催しているプログラムです。内容は、開催県が中心となり様々な取り組みを行っています

合宿では家庭を離れて、自分と仲間と一緒に活動する中で子ども達は様々な経験をし、大きく成長するきっかけとなります。

保護者の皆様には下記を次の交流会から協力をお願いします。

- ・出発式を終えたら解散式まで話しかけない
- ・子どもが困っていても我慢する

まだまだU-11,10の子ども達は、保護者の声や姿を見ると気が緩んでしまいます。子ども達の大きな成長のため保護者の皆様と指導者、スタッフで連携をとって行きたいと思っております。協力お願い致します。

2015/08/01(土)~02

スタッフから子ども達へ



今回の交流会で様々なことを経験できましたね。ピッチの中や外で、どんなことを学ぶことができましたか？

できると自信をつけたこともあれば、まだまだ力が足りないと感じたこともあるかもしれません。注意されたこともたくさんあったと思いますが、みんなは、チームのリーダーになる可能性をもった選手達です。常にその自覚をもち、様々な面での努力を続けて自信につなげていけるようにしてください。またピッチで成長したみんなの姿に会えることを楽しみにしています！

U-11 ヘッドコーチ 松下亮



今回の交流会に参加してみてどんなことを学びましたか。普段、所属しているチームでは遠征や合宿の経験あるとは思いますが、他チームの選手と寝泊りをするのは殆どの選手が初めてだったことでしょう。普段とは違った環境の中で、経験したことを次のステップへ活かしていけるようにしてください。サッカーはプレーだけではなく、普段の生活態度がでるスポーツです。『オフ・ザ・ピッチ』プレー以外の部分でもサッカー選手として一人の人間としてたくさんの経験をすることで失敗と成功を繰り返しながら成長できることでしょう。

U-10 ヘッドコーチ 稲田将吾



隣県交流会で得たものは大きいと思います。自分でやらなければいけない事や仲間と協力していく事はとても大切です。これはサッカーと同じです。考え方を変わると、生活面はサッカーに表れます。挨拶、荷物の準備、片付けなど、当たり前に行えるようにならなければ上には行けないとコーチは考えています。物事は繰り返すことで「習慣」になります。良い習慣の一つでも多く作れるように、そしてそれが当たり前で無意識の中で出来るように心がけていきましょう！

U-11 アシスタントコーチ 山形洋平



2日間暑中お疲れ様でした。この年代で他県のトップレベルの子達とトレーニング、ゲームが出来て良い経験になったことでしょう。その中で自分の力を発揮出来た人、そうでない人と思いますが、この経験をもう一回振り返り、チームでの練習に取り組んでほしいと思います。5年生は約2年間のエリート活動お疲れ様でした。エリートで学んだ事を活かし今後の活躍に期待しています。

U-10 アシスタントコーチ 末吉達也

オン・ザ・ピッチ&オフ・ザ・ピッチ①



出発式@運動公園

一泊二日の交流会に向けて、保護者に出発の挨拶。代表しての挨拶もすぐに決まりました。ただ、バスに乗り込むのは時間がかかりました。



佐賀に到着・会場移動

自分の荷物をしっかり管理するのは当たり前。チームや仲間の荷物にも目を向けれるようになって欲しいです。



開会式

熊本、佐賀、長崎、福岡から U-10: 名、U-11: 名が集まりました。



U-11 はクーバートレーニング

U-10 はサガン鳥栖トレーニング
学年ごとに別れてトレーニングを開始。他県との交流、いつもと違う指導者どんな環境でも、自分の力を出せるようになって欲しいです。



吉野ケ里遺跡探索

弥生時代の遺跡の中でも最大の吉野ケ里遺跡を探索。日本の古代の歴史を体感しました。



宿泊・夕食@青年会館

体の成長、回復のためにも十分な栄養を取る必要があります。ご飯をお代わりしている子も増えたと感じます。ですが、まだまだしっかりと食べられるようになって欲しいと思います。



ミーティング

学年ごとに初日の振り返りを行いました。毎回のトレーニング、試合から何か一つでも積み上げてくれればと思います。



オン・ザ・ピッチ&オフ・ザ・ピッチ②



U-11スピーチ

これまでのキッズエリートプログラムでの経験や感想を一人一人に話してもらいました。出来たこと出来なかったこと、そしてU-10に向けての言葉もありました。

自分の意見をしっかりと伝える一つの経験になったと思います。



朝の散歩・体操

朝食に向けて散歩と体操を行いました。「誰かたいそうやってくれる人」の声には誰も反応しませんでした。



朝食



交流試合

4チームに別れ各県と試合を行いました。自分の足りていない部分や強みなど、色々なことを感じられたと思います。



閉会式・片付け

少しずつですが、仲間を助ける子が増えてきました。



解散式

保護者に向けての言葉。U-11はこれが最後の役割でした。U-10はあと半年、先輩たちの言葉を聞き、仲間たちと一緒に成長してほしいと思います。

U-11の皆、これからもスタッフ一同応援しています。

考える力を育てよう・自立と自律



U-10 は思考力・コミュニケーションの面でも
ゴールデン・エイジ

参考資料として、お配りしている「JFA キッズハンドブック」やキッズリーダーをとっていただいた方は、「キッズ指導ガイドライン」を再度、ご確認ください。

* お持ちでない方はお渡しできますので、スタッフまでお伝えください。

* JFA ホームページからもご覧いただけます

キッズエリートでは、子ども達に様々な経験をしてもらうために、出来る限り自分でなんでも行うようにしています。

受付にも自分で行き、名前を言って受付をする。みんなの前で感想を伝える。保護者への挨拶を行う等、これからも様々な場を提供して行きたいと思えます。

しかし、いきなり子どもたちに「やってみろ」と言ってもできるものではありません。サッカー同様、普段のトレーニングがあって、試合での素晴らしいプレーが生まれます。

スタッフからも子どもたちにトレーニングの際には、できるだけ働きかけを行なっていきますが、ぜひご家庭でもトレーニング(経験)をお願いします。

◎例えば

「合宿出発の挨拶」

合宿での目標(僕は、この合宿で…)、そして挨拶(いってきます)

「練習後の挨拶」

練習で身に付いたことや感想、そして挨拶(ありがとうございました)

「試合相手チームへの挨拶」

お礼(試合の)、感想(相手チームの良かったことなど)、挨拶

これからの活動

Move (ムーブ) 動き関わり続ける
Organize (オーガナイズ) 自立
Creative (クリエイティブ) 創造性
Challenge (チャレンジ) 果敢に(あきらめない)
Open mind (オープンマインド) 向上心・学ぶ姿勢
Smile (スマイル) 笑顔

【U-11】

9月26日(土)、第1回目の県トレセンに向けて各地区トレセンでのトレーニングがスタートしていると思います。9月以降、定期トレーニングを行いながら、絞込等が行われると思います。

【U-10】

熊本FAでは、トレセン活動の充実を目指し来年度より4月からU-11トレセンがスタートする予定です。今年度より4種委員会にて12地区に再編され、各地域より6~7名を推薦し、活動を行う予定です。キッズエリートプロジェクトに参加している子ども達も地区トレセンより活動をスタートします。

◎選出されても・されなくても

トレセン制度は、数ある育成システムのうちの一つです。そこで選手された、されなかったからと言って、将来を保証されるものではありませんし、選手として道が閉ざされるわけでもありません。

キッズエリートプロジェクト出身の選手たちには、どんな環境でも自分自身を成長させられるような選手になってくれればと期待します。

コーチ、スタッフはいつまでも皆を応援しています。

熊本FA 育成ビジョン

「MOCCOS フットボーラーの育成」

2014年熊本FA技術委員会にて育成ビジョンを決定しました。ビジョンに掲げた

* 詳細は熊本FAホームページからもご覧いただけます